

## 令和2年度 伊是名村新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(事業実績及び効果検証等)

No.	事業名	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	うち交付金 (円)	効果・検証 ①成果(目標に対し具体的な数値を記載) ②検証(課題や今後の方向性を含め評価)	担当課
1	伊是名村事業者等家賃補助事業	新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため売り上げが減少したことにより、事業の運営に影響が生じている中小・個人事業者に対して、事業運営に必要な家賃(テナント料)相当額を補助することにより、事業継続を支援する。	R2.4.1	R2.12.31	200,000	200,000	①13事業所を想定していたが、申請受理されたのは2事業者のみであった。 ②家賃支払いや契約関係の書類不備による不受理が原因であった。	商工観光課
2	消費促進クーポン配布事業	地域消費の促進、拡大を図るため村内で使用できる商品券を発行し、地域活性化を図る。	R2.6.12	R3.2.28	14,067,235	14,067,235	①2,600セット発行し、換金実績は約2,591セット、利用率99.66%、消費喚起額18,139千円と一定の成果があった。 ②離島である本地域は、本島に比べ物価が高く、スーパーや商店等での利用率が高い傾向にある。飲食店での利用率アップを促すため取り組みが今後の課題である。	商工観光課
3	社会システム維持のための衛生確保事業	島内の公共施設や社会生活をするために必要な施設を対象に感染症対策にかかる消毒作業用煙霧機の購入及び消毒作業の実施。	R2.6.12	R3.3.31	4,263,420	4,263,420	①目標:173箇所、実績:86箇所 ②不特定多数の人が集まる施設を重点的に消毒することで、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。その他の施設については、罹患者が発生した際に対応する必要がある。	農林水産課
4	公共的空間安全・安心確保事業	公共的空間安全・安心確保事業の他、船舶運航事業特別会計・港湾整備事業特別会計に繰出し、感染拡大防止等に要する費用を交付対象経費とする。	R2.6.12	R3.3.31	3,961,132	3,961,132	①公共施設等の出入口に非接触型検温器、手指消毒用のアルコール消毒液・アクリル板等を設置することで、施設利用者の感染リスク低減や、施設内事務事業の継続に寄与できた。 ②施設内での取り組みを見た利用者への注意喚起の役割も果たすことができ、今後も継続していく。	総務課
5	公共的空間安全・安心確保(特別会計繰出金)事業	公共的空間安全・安心確保事業の他、船舶運航事業特別会計・港湾整備事業特別会計に繰出し、感染拡大防止等に要する費用を交付対象経費とする。	R2.6.12	R3.3.31	8,140,661	8,140,661	①船舶特会・港湾特会へ繰出しし、運天港及び仲田港内へ出入りするお客様の体温管理のほか、フェリー船内の空間除菌を実施し、感染拡大防止対策ができた。 ②今後は、感染対策を継続し、安全安心の渡航ができるよう努める。	商工観光課
6	伊是名村事業者支援助成金	売上高が減少した中小企業・小規模事業者の事業継続を支援	R2.7.1	R3.2.28	5,000,000	5,000,000	①村内事業者(36業者)に対して、対象期間の売上高の減少額に応じた助成金支給(10万～30万)をした。 ②新型コロナの影響による観光客激減や協力金対象外である観光業等への息の長い支援が課題と感じた。	商工観光課

## 令和2年度 伊是名村新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(事業実績及び効果検証等)

No.	事業名	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	うち交付金 (円)	効果・検証 ①成果(目標に対し具体的な数値を記載) ②検証(課題や今後の方向性を含め評価)	担当課
7	学校保健感染症予防対策事業	新型コロナウイルス感染症予防対策として教室等での空間除菌の実施及び児童生徒・教職員へマスクを配布し手洗い、咳エチケット等を徹底することで未然に集団感染を防止する。	R2.6.12	R3.3.31	8,565,678	8,565,678	①新型コロナウイルス感染症予防対策として各教室等での空間除菌を行うためオゾン発生装置を購入し空間除菌を徹底することができ、児童生徒・教職員へマスクを配布し感染症のリスクを軽減することができた。 ②引き続き新型コロナウイルス感染症対策に取組ことで児童生徒等の教育を受ける権利を保障し学校における感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減し学校運営を継続していく必要がある。	教育振興課
8	修学支援助成金	高校生や大学生等(専門学校、専修学校含む。)に修学している学生がいる家庭への支援対策として助成金を支給する。	R2.7.1	R3.3.31	480,000	480,000	①高校や大学等へ修学している学生がいる家庭へ、学生1人につき1万円給付を実施した。 ②子育て世帯の生活維持を支援することができた。	教育振興課
9	民泊受入対策支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた、民泊受入関連事業者に対し、事態が収束するまでの間、さらに収束後の事業継続に向けて支援する。また、事態の長期化を見据え、感染拡大防止対策を行うことにより、民泊受入事業の持続化、V字回復期における経済活動の再開を目的とする。	R2.9.16	R3.3.31	15,365,122	15,365,122	①民泊関連事業者の中心的役割を担っているいげな島観光協会へ補助金を交付した。 ②新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、民泊受け入れが難しい状況であるため、引き続きに支援が必要である。	商工観光課
10	3密対策事業者支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響長期化を見据え、感染蔓延期から収束期において、継続的に感染対策に資する事業を実施した村内個人事業主や小規模事業者等に対して事業費の一部を支援する。	R2.9.16	R3.3.31	3,931,094	3,931,094	①村内個人事業主や小規模事業者等全26者へコロナ対策の目的で衛生設備費を支援した。 ②早急にコロナ感染症対策を講じ、事業継続ができた。	商工観光課
11	医療提供体制推進事業	新型コロナ感染者の療養施設(村内の宿泊施設を借り上げ)療養所として活用する。	R2.9.16	R3.7.29	5,336,166	5,336,166	①村内にある宿泊施設を借り上げし、感染者を隔離する予定で民宿、ホテル事業所に説明会を行ったが、二次感染を恐れ受け入れがあり借り上げが困難となったが、村宿舎を利用することの調整できた。 ②村宿舎を利用することが可能となり、家族の多い感染者や高齢者との同居世帯などを優先し、感染者を隔離し接触を避けるため食糧支援や、家族内、集団感染などを防ぐことができた。	住民福祉課

## 令和2年度 伊是名村新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(事業実績及び効果検証等)

No.	事業名	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	うち交付金 (円)	効果・検証 ①成果(目標に対し具体的な数値を記載) ②検証(課題や今後の方向性を含め評価)	担当課
12	学校給食センター設備整備事業	新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、学校給食センターの設備等を再整備することにより、学校給食の安全と安心を図ることを目的とする。	R2.11.1	R3.3.31	10,771,409	10,771,409	①給食センター内に食洗機やエアーカーテンなどの設備を整備することにより児童・生徒へ安心・安全な給食を提供する事ができた。 ②今後も整備をした設備を利用して安心・安全な給食を提供することを務める。	教育振興課
13	WEB会議環境整備事業	対面により実施していた外部会議・研修等をWEB会議へ移行するため、リモートワークの推進に必要な環境を整備する。WEB会議の環境整備により、会議の所要時間、移動費・移動時間を削減し、行政機能の維持と業務効率化を図る。また外部との接触機会を削減しコロナウイルス感染防止を図る。	R2.10.1	R3.3.31	2,022,549	2,022,549	①ノートパソコン:3台、ディスプレイ:2台、スクリーン:1台導入 ②Web会議用のパソコンを導入することにより、Web会議が可能な環境が整備することにより感染リスクの低減や業務効率化が図られた。	総務課
14	地元産品活用支援事業	地元産品(野菜・果物・畜産物・水産物)についての良さを再確認し、新鮮な状態で、島内外へPRするために瞬間冷凍機、及び乾燥機を購入し、農産物・水産物をPRする。	R2.9.16	R3.5.11	19,409,720	19,409,720	①目標:瞬間冷凍機2台、冷風乾燥機2台、実績:瞬間冷凍機2台、冷風乾燥機2台 ②瞬間冷凍機及び冷風乾燥機を導入することで、地元産品の活性化が図られた。	農林水産課
15	地域の農産物魅力発信事業	村内の農産物特産品を他域内外にPRするため、新規・既存商品パッケージのデザインやブランディング(のぼり、ポスター)にかかる費用の一部を支援する。	R2.9.16	R3.3.31	1,200,000	1,200,000	①支援事業者数:6件 ②コロナ禍において、村内事業者が農産物特産品のPRをするために実施した取組を支援することにより、農産物特産品の活性化に寄与した。	農林水産課
16	GIGAスクール構想事業	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、教育現場において先生や児童・生徒がオンライン学習や家庭学習を负担なくスムーズに実施できるよう支援する。	R2.9.16	R3.3.31	10,650,904	10,650,904	①児童生徒における「1人1台端末」の整備を行い、感染症の発生等による学校の臨時休業時等においても、ICTを活用し、児童生徒の学びを保障することができた。 ②今後は、小学校低学年へのタイピング(ローマ字入力)やコンピュータの基本的な操作などの指導を重要視していく必要がある。	教育振興課
17	新型コロナウイルス感染症対応業務支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応するため、感染の疑いがある者や感染者の対応、それ以外の作業。また、緊急事態宣言による時短営業対象店舗の巡回に携わった職員に対し手当を支給する。	R2.9.16	R3.3.31	134,400	134,400	①時短営業対象店舗の見回りを実施することで感染リスクの低減や感染症対策の徹底等、安心して利用してもらう環境が整った。また、利用者への注意喚起にもつながった。 ②コロナ感染の状況を踏まえ継続等検討する。	総務課
18	災害時避難所空間対策事業	災害等(台風等)において、指定避難所に避難者の空間を確保するためのパーティション、飛沫がホコリに付着し床に滞留すれば感染リスクが高まるため、高齢者等の感染リスクが高い方や足腰に不安を抱えている避難者に対してベッドを設置するなどの空間及び感染リスク軽減を目的とする。	R2.9.16	R3.6.3	6,713,300	6,713,300	①避難所に、パーティションや簡易ベッドを設置することにより感染リスクの軽減に寄与した。 ②災害等(台風)避難所の感染対策の徹底に取り組む。	総務課